



## 地域研究（欧州）

### 練習問題

（6月2日）

以下の文章を読み、かっこ内に適語を入れなさい。

最初のヨーロッパ人と呼ばれる（ ア ）は、800年、ローマ教皇より西ローマ帝国皇帝の冠を授けられた。（ イ ）帝国の起源をこの時に求める見解もあるが、彼の死後、フランク王国は3つに分裂した。その内の西フランク王国は現在の（ ウ ）の領土と重なる。また、東フランク王国は現在の（ エ ）の領土と重なるが、その地には多数の領邦・自由都市が存在し、その内の一つである（ オ ）の主導下で国としてまとまったのは1871年である。多数の領邦・自由都市が団結したのは、（ カ ）が治めるフランスに対抗するためであり、1870～1871年に起きた（ キ ）戦争で勝利を収めた後、敗戦国フランスの（ ク ）宮殿で建国が宣言された。

それから約40年が経過した1914年、（ ケ ）をきっかけとし、第1次世界大戦が勃発するが、ドイツはこの戦争に敗れ、帝政が崩壊した。（ コ ）条約によって、ドイツは非常に重い賠償責任を課されることになったが、1923年1月、フランスやベルギーは、賠償金の未払いを理由に、ドイツのルール地方<sup>1</sup>を占領した（ルール占領）。これに対し、ドイツは官民が一体となり、工場の生産を停止することで抵抗した<sup>2</sup>。この占領は、米国が提示した案（起草した委員会の長の名をとり「ドーズ案」と呼ばれる）に従いドイツの賠償責任が改められるまで続いた（1924年10月）。これによってドイツの賠償責任は軽減されることになり、ドイツとヨーロッパ諸国との関係は改善された。そして、1925年10月、スイス・ロカルノで条約が締結され（ロカルノ条約）、ドイツ、フランス、ベルギーの相互不可侵が確認された。また、翌年、ドイツは国際連盟に加盟し、国際社会へ復帰した。この年、独仏の和平構築に貢献したフランスのブリアン外相とドイツのシュトレゼマン外相にはノーベル平和賞が与えられている。

1928年、ブリアンは、米国のケロッグ国務長官（外相に相当）とともに、不戦条約（ケロッグ＝ブリアン条約とも呼ばれる）を起草し、戦争は違法であることを明文化した。1929年、ブリアンは「ヨーロッパ連邦」の創設を提唱し、ヨーロッパという地理的一体性を持つ諸国は経済統合を実施する必要性を説いたが、同年に発生した（ サ ）は各国の経済に大きな打撃を与え、欧州統合の芽は摘み取られる。高い失業率と高い物価上昇（インフレ）に悩まされたドイツでは、（ シ ）年、ヒトラーが首相に就任した。

<sup>1</sup> ルール地方はドイツ有数の工業地帯であり、フランスやベルギーにも近い。サッカーの香川選手が所属するドルトムントは、このルール地方にある。

<sup>2</sup> この対立期にドイツでは物価が高騰し、1923年11月には、ヒトラーがミュンヘンで一揆を起こすまでになった（ミュンヘン一揆）。